

グローバルにいがた



国際交流拠点から

from

ロンドン



関 晴子さん

＝新潟市西区出身＝

作庭に映す日本の心

「文化は更新し続けなければ廃れてしまう」という言葉があります。日本の文化は過去に築いた

彼らも日本の文化に尊敬と興味を持ってきていたため、私たちはあつととしたカルチュラル・エクステンション(文化拡張)を企てました。今年3月に私がフロレンスを訪れた際に、大学の建築学科で日本の庭園や空間についてのレクチャーをさせてもらい、6月にこの建築事務所の新着建築家が東京を訪れた際に「リノベーション&イノベーション(再生と革新)」をテーマにプレゼンテーションをしていただきました。

庭園設計など空間をデザインするデザイナーです。

海外に拠点を置くメリットの一つは、さまざまな文化を持つ人々と交わること、そのことによって日本文化の本質を再確認できることかもしれません。自分の活動を通して日本文化の継承と発展に何らかの貢献ができるなら、これほどうれしいことはありません。

ここ数年はイタリアからのお仕事をいくつか手掛ける機会に恵まれました。きっかけは北イタリアの建築事務所からのコラボレーションの依頼でしたが、フロレンスに本社を置く彼らの仕事に触れ、伝統を守りながら常に革新的に街並みや建築を刷新していく姿とても感銘される思いでした。

素晴らしい伝統を更新し、継承していきながら、歴史を振り返りつつも、国の文化が変容し、発展するときには外国との相互作用があったように思います。私は英国での生活が長くなるにつれ、ますます日本の文化への憧れが強くなり、自身の作庭でも伝統的な形態を模するのではなく、日本の心を表現する現代的な空間をつくるよう心掛けてきました。

ロンドンをベースにランドスケープデザイン(景観設計)とガーデンデザインの仕事を手掛けて10年近くになります。ロンドンには多様な人種を許容する都市なので、英国人に限らず、庭の設計の仕事を通していろいろな国の方のお相手をする事になりました。ヨーロッパ各国に近い地の利もあって国外からの依頼も少なくありません。



コラボレーションにより、関さんがイタリアの展示会に出展した庭園(2013年5月)

新潟日報社が開設した米ニューヨーク(NY)、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州(パリ)の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をレポートしてもらい、毎月第1月曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第1月曜掲載



渡辺さんが通うニューヨークのスポーツジム

from

NY



渡辺 亮さん

＝田上町出身＝

老若男女楽しむジム

アメリカといえば国民の3人に1人が肥満といわれる肥満大国のイメージがあります。一方で健康への意識が高い人も多く、彼らは健康維持のために足しげくジムに通っています。そんなアメリカ人の大好きなジムについて紹介します。

昨年末のこと。酔っ払ったアメリカ人の同僚の女性が私の腕を触るなり、「Weak(弱い)」と叫びました。私は身長181センチ、体重80キロ以上日本人としてはかなり大柄で、人生初のWeakとの指摘はかなりショックでした。その同僚を見返すべく、私のジム通いが始まりました。

アメリカのジムの良い点は老若男女誰でも楽しめることです。託児室が併設され、お子さん連れでも運動できます。トレーニング設備に加えてバスケットコートがあるジムが多いです。多額のトレーニング料がかかるので、安心して運動する高齢者が多く見られます。会費が30ドルと控えめなことが多く、人が通う一因かもしれません。

現在私は駐在員としてニューヨークに住み、毎朝ビジネスバッグと一緒にスポーツバッグを車に積み込み、通勤しています。Weakと呼ばれるレベルに達したかは不明ですが、新潟のお米と食材でつくった体をさらに鍛えるために、日々時間を費やしてはジムに通っています。ジムに併設されたジュースバーのスムージーは運動後は格別です。もちろん、体を鍛えるためにプロテイン入りの

驚いたことが、トレーナーに朝と夜どちらに来るか聞かれたことです。アメリカのジムは24時間営業が普通で、仕事前に汗を流す人もいます。朝の弱い私は夜を選び、ある日、夜11時にトレーニングを終えて帰ろうとする時にジムに来てアメリカ人が始めたトレーニングがまたもや驚きです。なんと足を90度に持ち上げ腹筋を鍛えながら懸垂を行っていました。深夜に荒行に取り組む人々たちを見て、Weakと言われたことに初めて納得しました。

アメリカの女性は私の腕を触るなり、「Weak(弱い)」と叫びました。私は身長181センチ、体重80キロ以上日本人としてはかなり大柄で、人生初のWeakとの指摘はかなりショックでした。その同僚を見返すべく、私のジム通いが始まりました。

from

北京



岡田 悦奈(旧姓・中島・中国名・王悦)さん

＝北京新潟県人会会員＝

新潟との縁胸に刻み

一番好きな日本の言葉は「二期一会」です。第二の故郷になった新潟とのつながりを大切に、感謝を忘れず、いつか家族と一緒に新潟の皆さまと再び「出会う」ために帰郷したいと思っています。

私は中国の黒竜江省大慶を故郷とする「正(中国)人」です。中国で大学を卒業して日本へ留学し、新潟大学の修士課程を修め、新潟で就職し、日本に帰化した。日本で生きていこうと思つてのことでしたが、中国の両親の強い要望で私の人生は三転三転し、日本企業の駐在員として中国で仕事をすることになりました。

約10年の日本生活を終え、北京で新生活をスタートしたので、結婚した相手が北京で出会った日本人だったのは不思議な巡り合わせだと感じます。主人は新潟出身ではないのですが、北京新潟県人会には毎回2歳半の息子とおなかの中の次男(らしい?)と一家そろって参加しています。

新潟で多くの人と出会い、異なる文化や習慣を感じていくうちに性格も変わっていききました。うれしい、楽しい、驚いた、悲しい。新潟で抱いたいろいろな気持ちは貴重な思い出となり、今の私を形づくっている大切な要素です。

昨年暮れ、新潟の観光関連の翻訳に携わる機会がありました。新潟を知り尽くしているとおおごがましくて言えませんが、新潟への愛情は誰にも負けない自信があるので喜んでお引き受けしました。

「わっぱ飯」「ほっほ焼き」なんて見るとおなかが鳴りますし、「光のページェント」は職場のすぐ裏にあったのを覚えています。懐かしくて思い出に浸りそうになりますが、そんなときも多くの中国人が思ってくれるような中国語を考えないといけません。もっと良いものをと求めるときりがありませんが、締め切りはやってきます。完成したホームページを開くと、ともあれ「できることばかりだった」という気持ちになり、多くの人に新潟で出会ったことばり訪れたいと祈りました。



新潟代表で岡田さんが夫婦で参加した「都道府県対抗歌合戦@北京」

from

ブラジル



小野塚 淑子さん

＝村上市出身＝

日系社会知る機会を



日系人団体の会長に話を聞くタムラさん(左)とサンジョゼ・ドス・カンポス市

しかし、この地で生まれ育った2世、3世ともなると日本語を話せないばかりか、日本についてまったく興味をなさない人もたくさんいる。ブラジルに生まれ育っているのだから当たり前といえは当たり前の話だが、日本人の私としては寂しい気持ちになる。

そんな中、自分の「ルーツ」を探ろうとする若者もいる。私が住むサンジョゼ・ドス・カンポス市の日系3世、アナ・ベアトリス・タムラさんその一人である。彼女は大学4年生。ジャーナリズムを学んでいる。卒業論文のテーマにサンジョゼ市の日系社会を選んだ。市民に占める日系人の多さや、日系社会の長い歴史があるにもかかわらず、それを知っている人があまりにも少ないのがテーマ選定の理由という。

タムラさんは特に市内に古くからある複数の日系人の団体について詳しく調べている。サンジョゼに住む10歳から50歳まで、100人以上に話を聞いた。その内容を論文としてまとめ、日系社会についてより多くの市民に知ってもらうことが夢」と話す。

父親はブラジル人、母親が日系2世というタムラさんは、幼い時から特に母方の親戚が集まる時などに日本の文化をひしひしと感じていた。そのことから日本に対する興味を強く抱いていたという。

「自分を日系人として感じるかどうかの質問には「もちろん。だって私の名字はタムラですから」と笑顔で答えてくれた。

日本からブラジルに渡った人々は高年齢化し、日本語の読み書きができない日系人が増えている。そんな中でタムラさんのような取り組みをしている若者に出会うと、日本人としてうれしくなる。彼女の夢が実現し、多くの人がサンジョゼの日系社会について知る機会が増えてほしいと願っている。

髪が早く乾いてふわサラな仕上がりに。

ノンシリコン処方 髪にやさしく、さらに早く乾いてドライヤーの熱による髪と地肌への負担を軽減します

ヘアリエ クイックブローミストの「時短ヘアケア」

step.1

タオルドライ

まずはしっかりとタオルドライ。

step.2

ミスト

たっぷり地肌近くまでスプレー。

step.3

ブロー

いつもより早く乾いて、気分上々。

ブルガリアンローズの香り

柑橘の香り

NEW

クイックブローミスト 各180mL オープン価格

FOR THE BEAUTY AND HEALTH

KAMINOMOTO

商品に関するお問い合わせは、フリーダイヤルへどうぞ。

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通3丁目3-25 株式会社加美乃素本舗 TEL 078-231-1455(代表)

☎ 0120-4697-88

※月曜～金曜、午前9時～午後6時 ※携帯電話からもご利用いただけます

髪やお肌の豆知識、キャンペーン情報など配信!!!

Facebook 加美乃素本舗 Twitter @KaminomotoHonpo